

海外売上高比率が増加する事業環境下での： グローバル経営情報の効果的管理・活用によるPDCA推進施策

～経営企画と情報システムの視点から考察する「経営インテリジェンス」と「PDCA」の連携～

■日時■ 2015年 3月25日 水曜日 13:30～17:00

■会場■ 東京・麹町 一般社団法人 企業研究会セミナールーム

■講師■ (株)野村総合研究所 産業ビジネスデザイン部

コンサルティング第一グループ 主任コンサルタント 根岸 正州 氏

コンサルティング第一グループ グループマネージャー 中川 宏之 氏

※講師プロフィールは裏面をご参照下さい。

■開催にあたって■

日系企業の海外展開において分権経営の名の下に海外各社の現場まかせになってきた傾向を是正し、グローバル全体での企業価値の更なる向上のための改革の動きが強まっています。

グローバルでの経営情報の「見える化」から始まることが多いですが、「見える化」されただけでは意義が薄く、グローバル全体での情報および分析に基づく経営インテリジェンスを新たに創造する取組を行うことが必要です。本セミナーでは、グローバル化する日系企業の更なる競争力強化のために、海外での成功事例も紹介しながら、経営インテリジェンス機能強化の具体的な方向性について解説致します。

■ご参加いただきたい皆さま■

経営企画部門、情報システム企画部門、海外事業部門 などにて

- ・グローバルでの経営管理に携わる方
- ・本社にて事業部から独立した分析チーム立ち上げについて構想をされている方
- ・グループ経営の文脈で、本社集権型のガバナンスおよびIT改革に取り組まれている方

●参加要領●

●受講料● 1名 (消費税8%込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。http://www.bri.or.jp

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人 企業研究会

担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町5-7-2

麹町31MTビル2F

TEL 03-5215-3512 FAX: 03-5215-0951

141786-0113※		15・3・25		グローバル経営情報の効率的管理・活用	
会社名					
住所	〒 -				
TEL	FAX				
部課 役職		フリガナ			
		お名前			
e-mail					

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

【講師プロフィール】

- ・ **根岸 正州**(ねぎし まさくに)氏 (株)野村総合研究所 産業ビジネスデザイン部
コンサルティング第一グループ 主任コンサルタント 早稲田大学理工学部卒業、東京工業大学大学院卒業。
大手企業を中心にグローバルでの経営管理、ガバナンス・組織改革、分析チームの組織設計等のコンサルテーションを行っている。
- ・ **中川 宏之**(なかがわ ひろゆき)氏 (株)野村総合研究所 産業ビジネスデザイン部
コンサルティング第一グループ グループマネジャー 早稲田大学理工学部卒業。ミシガン大学MBA取得。
日系企業を中心に、業務改革や組織改革のコンセプト策定と実行支援を行っている。

【講義プログラム】

- 【13:30～13:45】 **1. なぜ、今、グローバル経営情報管理の高度化か？**
グローバル化を志向する日系企業は、事業環境の抜本的な変化を経験してきており、その危機感が、複数事業／地域を横断する経営情報プラットフォームの整備に駆り立てている。
グローバル経営基盤の強化として、グローバル経営情報管理の高度化が求められている背景として、経営資源配分の最適化、各事業の事業構造の強化、経営環境変化へのスピーディな対応などの経営的なニーズについて解説する。
- 【13:45～14:15】 **2. よくあるグローバル経営情報の「見える化」の問題と解決のポイント**
現状の経営情報管理の高度化に関する問題について日系企業がグローバル経営情報を管理する上で直面する典型的な問題事象を整理する。
現状の経営情報管理の高度化に向けた方向性としては、経営情報の Q(情報の質)・C(手間・コスト)・D(スピード)・V(付加価値)のそれぞれの情報を改善することになる。
経営情報の「見える化」に関わる問題を解決する為の具体的方法論を解説する。
- 【14:15～15:15】 **3. 企業価値増大のための「見える化」から「経営インテリジェンスの創造」へ**
グローバルの経営情報が見えるようになることは重要であるが、見えただけでは価値創造につながらない。
グローバルに事業展開する経営者の経営判断に資する為には、貴重な情報を集めて、付加価値の高い分析を加え、これまでの戦略やオペレーションを高度化させる示唆を与える経営インテリジェンスまで昇華させる必要がある。
経営インテリジェンス創造のための国内外の先進的な成功事例および具体的な分析事例を用いて、ケースを用いて、経営インテリジェンスの創造のための改革の方向性について具体的に解説する。
- 【15:15～15:30】 <休憩>
- 【15:30～16:00】 **4. 経営インテリジェンス機能の設計、および、組織・IT基盤の設計**
グローバルでの本社機能の一環として経営インテリジェンス機能を創造していくためには、分析専門組織の機能設計を行う必要がある。さらに、IT、役割・権限、業績評価、人材育成等の組織・IT基盤の整備の方向性についても解説する。
- 【16:00～16:40】 **5. 経営インテリジェンス創造のためのスモールスタートとPDCAによる継続的な改善**
インテリジェンス機能を強化するといっても、これまで現場や経営の勤にたよった経営からの変革は障害も多く、一筋縄で改革は断行できない。小さく産んで大きく育てるというスモールスタートから始めて、「経営インテリジェンス創造企業」になるためのPDCAサイクルによる継続的な発展の方法論について解説する。
- 【16:40～17:00】 <質疑応答>
※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。